

平成23年4月20日

「CSR基本方針」の制定について

武蔵野銀行（頭取 加藤 喜久雄）では、以下のとおり「CSR基本方針」を制定しましたのでお知らせいたします。

当行では、CSR（企業の社会的責任）に関する具体的行動の根幹となる考え方を「CSRの基本的考え方」として取り纏め、平成19年度より公表しております。当行は市民の銀行として、お客さまをはじめ、地域社会、株主の皆さま、従業員など、当行を取り巻く全ての人々からの理解と共感、信頼や支持を得ながら、持続的に成長を遂げていくことが、当行の企業市民としての社会的責務と認識し、「CSRの基本的考え方」に基づき、CSRへの取組みに努めてまいりました。

今般制定した「CSR基本方針」は、この「CSRの基本的考え方」を発展させたものとなります。今後は本方針のもと、CSRへの取組みを一層強化してまいります。

【CSR基本方針】

1. 地域経済への貢献

私たちは、地域経済の活性化のため、事業活動を通じて一人一人が金融のプロとしての役割を果たし、持続的で活力ある地域経済の構築に貢献します。

私たちは、当行の経営の安定こそが、地域経済に対する貢献の第一歩であることを肝に銘じ、一人一人が高い規律意識を持ってリスク管理、コンプライアンスの徹底に取り組めます。

私たちは、当行の経営内容について積極的に情報開示を行うことで、取引先、株主、投資家等と信頼関係の維持・発展を図り、継続的・安定的に地域経済に貢献します。

2. 地域社会への貢献

私たちは、当行が地域の皆さまにとってなくてはならない地元金融機関としてお役に立てるよう、利便性を高めるとともに質の高いサービスを提供します。

私たちは、雇用問題や少子化問題等の多様な社会問題を自らの課題として受け止め、法令等を上回るレベルでの実践を目指すとともに、働く者一人一人が満足できる職場づくりに取り組みます。

私たちは、地域に根ざす企業市民として、各種イベントへの協力や金融教育の普及、福祉活動への関与など、地域社会の活性化につながる活動を行います。

3. 環境への配慮

私たちは、事業活動の中に常に環境保全の視点を持ち、地域の皆さまへ環境にやさしい商品・サービスを提供する等、環境への影響に十分配慮した取組みを行います。

私たちは、地球温暖化問題（CO₂削減）はもとより、地域の環境問題（有害排出物削減や生態系保護等）を正しく認識し、環境への負荷を最小限にすることに努力しつつ、事業活動を行います。

私たちは、少なからず環境へ負荷をかけながら事業活動または生活していることを肝に銘じ、一企業として、また一市民として、積極的かつ継続的な環境保全に対する支援活動を行います。

以上

報道機関からのお問い合わせ先

総合企画部 広報・CSRグループ 松本・小池

TEL (048) 647-2718